

タイトル

信頼出来ないコンテンツプロバイダに対してもプライバシーとコンテンツの保護が可能なインターネットネット画像売買システム

A Privacy-Secure Content Trading System for Small Content Providers Using Semi-Blind Digital Watermarking

概要

コンテンツトレーディングにおいて、実用的な処理時間で取得者のプライバシー保護が可能なコンテンツ保護技術である。昨今、インターネットを介したコンテンツ取引の増加に伴い、コンテンツの不正流出が提供者(CP)にとっての脅威となっている。そこで、コンテンツに不可視なメッセージを秘匿するデジタルフィンガープリント技術がある。この技術の基本モデルでは、CPが事前に取得者IDをコンテンツに埋め込む事により、流出したコンテンツからIDを抽出し、流出元を特定することが出来る。しかし、CPの一方的な安全性しか考慮されておらず、新たに取得者のプライバシー問題が表面化している。その解決策として提案された、Trusted Third Party(TTP)の介在によるブラインド型では、プライバシーは保護出来るものの、暗号の利用により、埋め込み方法やビット数が制限され、処理コストや耐性の面で実用的ではなかった。そこで、SBにより処理コストの低い画像分解と、ブラインド型に求められているプライバシー保護の特性を通常のフィンガープリントと遜色ない処理コストおよび耐性で実現する事が可能になる。



URL

産業界への展開例・適用分野

ユーザの匿名性が保護されたままデジタルコンテンツの取引が出来るため、顧客のプライバシー情報の保護が必要なコンテンツを提供するプロバイダに対して展開することが考えられる。

研究者

	氏名	専攻	研究室	役職 (学年)
展示担当者	岡田満雄	知能情報学	岡部研究室	博士5年